

おおむた 市議会だより

第207号

平成30年度
12月議会

平成31年(2019年)2月1日発行

インターネット議会中継配信中
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成25年度以降

【主な記事】

●意見・要望を市長に提出し、
回答を依頼しました
／ぎかいの話題(2ページ)

●完走しました！リレーマラソン
／トピックス(11ページ)

●大牟田駅の魅力化・活性化
／おおむた自慢(12ページ)



オオムタ☆イルミネーション2018
(11月27日～1月31日)

ぎかいの話題

意見・要望を市長に提出し、回答を依頼しました

平成30年度「議会報告会」は、昨年8月に市内9会場で開催しました。参加された皆さんから、市議会に対する意見・要望のほか、市行政に対する意見・要望も多く出されました。

この「議会報告会」で出された意見・要望を踏まえながら、9月議会の質疑質問や決算特別委員会で議論したところです。その貴重な市民意見などを踏まえ、全議員の合意形成を図った意見・要望としてとりまとめました。

また、「まちづくり・活性化特別委員会」においても、まちづくり総合プランに係る意見・要望をとりまとめました。

とりまとめた以下の意見・要望を、30年11月、議会の総意として市長に提出し、新年度予算案提出時まで文書での回答を依頼しました。

**市長に提出した
「意見・要望」****1. 保健所の設置主体の変更**

保健所への届出、市民の利用がどう変わるのかなど、具体的な中身を説明してほしい。

県へ移管になっても、出張所や分庁舎の設置を検討するなど、市民サービスの低下にならないようにしてほしい。

2. 小中学校の特別教室等へのエアコン設置

未設置箇所もあるため、各学校の意向調査も行いながら、国等の有利な財源が確保できる場合にも即応できるよう、設置計画などの策定も含め、鋭意準備を進められたい。

3. 病後児保育事業

現在休止状態となっていることから、早期に再開できるよう、より一層努力されたい。

また、病児保育事業についても、子育てと仕事の両立への支援強化を図るためにも、実施に向けて、引き続き取り組まれたい。

4. 学童保育所・クラブの充実

学童保育所・クラブに関する調査結果やそれらを分析・検証した結果を所管常任委員

会に報告されたい。

また、さらなる充実に向け、利用時間の延長を含め、31年度予算へ反映されたい。

5. 様々な課題を抱える子供たちへの支援

複雑化・深刻化した事案に大きな成果が得られているスクールソーシャルワーカーについては、さらなる充実に向け、体制強化を図られたい。

また、子育て世代包括支援センターにおいても、子育て世代の多種多様な課題解決に向け、関係機関と連携を図る必要があることから、ソーシャルワーカーを配置されたい。

6. 三池港

重要港湾としての利用促進に加え、その周辺を含め、市民が集い、より親しまれる港として有効活用されるよう、本市も積極的かつ具体的な取り組みを検討し、国・県や関係企業にも働きかけられたい。

7. 地域包括支援センター

今後ますます高齢化が進み、重要性は増すことから、その充実に向け、人材確保などの支援に一層取り組まれたい。

また、より専門性を発揮するため、関係団体・機関との

協力・連携を強化しながら、効率的な運営を図られたい。

8. 地域公共交通網形成計画

民間事業者等との協議を十分に行うとともに、交通弱者に配慮した具体的な取り組みを進められたい。

また、交通空白地帯の解消に向けた取り組みと31年度予算への反映に努められたい。

9. 平日時間外小児急患診療

市立病院を使用したセンター方式が一部導入されたが、事業継続の今後の見通しは厳しいことから、土曜診療のあり方等の課題も含め、関係団体と協議・調整を行いながら、事業の安定化を図られたい。

また、事業を継続するためにも、これまで以上に患者の受診マナー向上の啓発にも取り組まれたい。

10. 市庁舎整備

庁舎整備検討委員会の答申をはじめ、市民、団体等から多様な意見が寄せられている。

基本方針案の策定過程において、本館を庁舎として使用する・しない、現地以外の検討、その他の比較検討資料ができ次第、速やかに所管常任委員会に報告など行われたい。

本会議運営のあらまし

■ 大牟田駅連絡橋改修工事委託に係る請負契約の締結に関する議案などを可決

12月議会

平成30年度12月議会は、12月10日に招集され、12月21日までの12日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、6,255万4千円を追加する一般会計補正予算などの予算議案6件、大牟田スタートアップセンター条例の一部改正など

の条例議案9件、市道路線の認定及び廃止に関する議案等3件、請願及び意見書案の発議12件の計30件でした。

本会議では、市庁舎整備、防犯灯、市街地再開発事業、絵本ギャラリーなどの諸課題に12人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

本会議最終日までに、意見書案の発議4件を除いた各議案をそれぞれ可決、採択して本会議を閉会しました。

議会日誌 (10月～12月)

- 【10月】 17日 広報広聴委員会広報部会
18日 総務委員会
26日 広報広聴委員会広聴部会
29日 市民教育厚生委員会
- 【11月】 5日 広報広聴委員会広聴部会
9日 広報広聴委員会、まちづくり・活性化特別委員会
12日 各派代表者会、議会運営委員会
26日 都市環境経済委員会
- 【12月】 3日 各派代表者会、議会運営委員会
4日 総務委員会、市民教育厚生委員会
5日 都市環境経済委員会
10日 第3回定例会本会議〔開会〕、広報広聴委員会広報部会
14日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
17日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕
18日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
19日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
21日 各派代表者会、議会運営委員会、
第3回定例会本会議〔採決、閉会〕、広報広聴委員会広報部会

行政視察受入 (10月～12月)

月	日	都道府県	団体名	視察項目
10	2	埼玉県	秩父市議会	有明圏域定住自立圏事業
	10	長野県	安曇野市議会	大牟田市認知症ケアコミュニティ推進事業
	11	千葉県	鴨川市議会	市立病院の独立行政法人化
	12	愛知県	豊田市議会	居住支援協議会
	15	埼玉県	越谷市議会	議会活性化等の取り組み
	16	長崎県	西海市議会	公有財産の利活用
	17	滋賀県	近江八幡市議会	議会改革の取り組み
	23	神奈川県	厚木市議会	議会報告会
	25	岐阜県	美濃市議会	小学校の先進的な外国語教育
	6	宮城県	富谷市議会	ユネスコスクール推進事業
11	7	鳥取県	伯耆町議会	女子力を生かした移住・定住・交流推進事業の取り組み
	8	東京都	国立市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	9	神奈川県	神奈川県議会	世界遺産に係る観光振興
	13	滋賀県	彦根市議会	ユネスコスクール (ESD の取り組み)
	15	福島県	郡山市議会	ESD (持続可能な開発のための教育)
	20	北海道	小樽市議会	重要港湾三池港を活用した地域振興
	27	徳島県	北島町議会	ありあけ浄水場
12	4	福岡県	田川市議会	市営住宅 (公営住宅・改良住宅) の管理

委員会メモ

投票区の一部変更について

【総務委員会】

12月4日の委員会で、三池地区公民館の投票区を銀水小学校、三池小学校、歴木中学校の投票区に再編、駛馬北・駛馬南小学校の投票区を駛馬小学校の投票区に統合する旨の説明を受けました。

平成30年12月3日から投票区の変更は施行され、投票区が変更される全世帯にお知らせはがきが郵送されています。

「大牟田市女性センター」の名称変更

【市民教育厚生委員会】

12月4日の委員会で、近年の女性活躍推進法の施行や男女共同参画社会の一層の推進を図る観点から、同施設を「大牟田市男女共同参画センター」に変更する旨の説明を受けました。

31年4月から名称が変更されます。

大牟田駅西口の機能充実

【都市環境経済委員会】

11月26日の委員会で、駅西口の環境整備、おもてなしの対応や駅西口の機能充実として、路面電車204号の移設及び観光クーポン券発行事業等の説明を受けました。

これを受け、西鉄の観光列車及び路面電車204号の移設後の管理等について質疑が交わされました。

まちづくり総合プランへの意見・要望

【まちづくり・活性化特別委員会】

11月9日の委員会で、まちづくり総合プランに係る要望などについて、全委員の合意形成を図るため、作業部会で作成された文案をもとに、各会派・委員の意見を持ち寄り委員間討議を行いました。

議案等の審議結果

議 員 名 議 案 等 名		自由民主党議員団							公明党議員団					社民・国民民主・護憲クラブ				日本共産党議員団			無所属					賛成数	審議結果
		徳永春男	境公司（議長）	田中正繁	中原誠悟	光田茂	森童子	山口雅夫	大野哲也	今村智津子	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	橋積和雄	北岡あや	高口講治	島野知洋	城後徳太郎	塚本二作	森遵		
発議第23号	沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書案	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決	
発議第24号	慎重な憲法論議を求める意見書案	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決	
発議第25号	教育の無償化・負担軽減に関する意見書案	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決	
発議第26号	消費税増税の中止と税制の民主的改革を求める意見書案	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決	
議案第39号	大牟田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決	
発議第27号	認知症施策の推進を求める意見書案	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決	
発議第28号	日米地位協定の抜本改定を求める意見書案	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	22	多数可決	

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で可決、採択されました

議案第 32 号 平成30年度大牟田市一般会計補正予算

議案第 33 号 平成30年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算

議案第 34 号 平成30年度大牟田市介護保険特別会計補正予算

議案第 35 号 平成30年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第 36 号 平成30年度大牟田市水道事業会計補正予算

議案第 37 号 平成30年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算

議案第 38 号 大牟田市議会議員及び大牟田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 40 号 大牟田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 41 号 大牟田市嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 42 号 大牟田市市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 43 号 大牟田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 44 号 大牟田スタートアップセンター条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 45 号 大牟田市屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 46 号 大牟田市企業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 47 号 市道路線の認定及び廃止について

議案第 48 号 請負契約の締結について（大牟田駅連絡橋改修工事委託）

議案第 49 号 財産の取得について（水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型）

請願第 1 号 大牟田市明るい町づくり推進協議会の防犯灯設置事業に関する請願書

請願第 2 号 保健所の設置主体変更に伴う大牟田市における食の安心・安全を守るための支援を求める請願

発議第 29 号 被災者生活再建支援法の改正を求める意見書案

発議第 30 号 相次ぐ災害に対する特別交付税の増額を求める意見書案

発議第 31 号 無戸籍問題の解消を求める意見書案

発議第 32 号 保健所の設置主体変更に伴う大牟田市における食の安心・安全を守るための支援を求める意見書案

インフォメーション

■次の定例会は2月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画（平成25年度以降）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。

2月下旬から閲覧できます。ホームページでも2月下旬から検索・閲覧できます。

「選ばれるまち」にむけた事業の展開を



社民・国民民主・護憲クラブ
森田 義孝 議員

市長の政治姿勢とまちづくり、市長が考える「選ばれるまち」

問 次の100年に向けて様々な事業を展開されているが、人口減少に歯どめがかからず、少子高齢化が進行している。

郷土に住み続ける定住人口の維持と、本市へ人を呼び込む移住人口・交流人口の増加、雇用の場の確保、子どもを産み育てられる環境づくりに取り組むなど、「選ばれるまち」になっていくことが重要だと思いが考えを聞きたい。

答 地域の総合力を高め、シティプロモーションなど様々な取り組みを着実に進めることが、「選ばれるまち」につながっていくものと考えている。

再発言 今後のまちづくりに、本市独自のシティプロモーションと、「選ばれるまち」への事業展開を要望する。

市庁舎整備に係る現時点での検討の視点と状況

問 市庁舎整備検討委員会の答申では、整備手法において、本館は改修し庁舎として使用する、庁舎として使用しない、という意見に分かれ、また、

庁舎として使用しないという意見の中には、建て替える、庁舎以外の用途での活用を検討する、という意見があり、検討委員会として結

論が出せず、両論併記となっている。

この答申を受け、2019年2月の市議会全員協議会において、市庁舎整備に関する基本方針案を提示することだが、現時点での検討の視点と状況について聞きたい。

答 この基本方針は、庁舎に求められる機能という項目の実現を大きな視点とし、これらを実現するための整備手法、あるいは建て替える場合の建設場所の検討とともに、事業の財源、目標年度、公共機能や民間機能の導入の可能性なども検討していきたい。

再発言 しっかりとした検討を行い、基本方針を策定されることを要望する。

また、庁舎本館の位置づけと方向性は、極めて重要だと思うことから、文化財保護の観点等を念頭に置いて、慎重な検討を要望する。



市庁舎 本館

防犯灯設置費補助事業の補助金等を含めた今後の方向性

問 防犯灯設置費補助事業に関しては、大牟田市明るい町づくり推進協議会と大牟田校区コミュニティ連絡協議会の連名により、市議会宛てに請願書が提出されている。

この請願は、市内全体の防犯灯をLED化するためには、7年間、毎年650基の受付が必要で、平成31年度から7年間、毎年812万5千円の補助事業の予算確保を要望されているもの。

当局も内容を承知していると思うが、このような背景を踏まえ、防犯灯設置費補助事業に係る今後の補助の方向性について聞きたい。

答 限られた財源の中であるが、校区コミュニティ連絡協議会の意見を参考にするとともに、明るい町づくり推進協議会とも、より緊密な連携を図りながら、地域が設置する全ての防犯灯が早期にLED化できるよう、今後も推進を図っていきたい。

再発言 防犯灯の設置は、不審者や放火などの未然防止、通学路の安全確保、生活道路の安全対策など地域の安心・安全な暮らしに欠かせないのであり、市民との協働の観点も含めた中で取り組む重要な課題だと思う。

そのような視点に立って、防犯灯設置費補助事業のさらなる促進と予算の確保・拡充を要望する。

代表質問

市庁舎本館は存続させて活用の検討を



日本共産党議員団
橋積 和雄 議員

消費税増税の影響は

問 本市では地元のタクシー会社が連続して倒産するなど厳しい経済状況。消費不況のもとでの消費税増税は論外ではないか、市民生活への影響について市長の見解は。

答 市民生活への影響については注視をしつつ、国の施策に適切な対応を図りながら、市民生活の安定に努めたい。

市庁舎整備方針

問 本館の保存・活用について現在の検討状況を聞きたい。

答 登録有形文化財の本館は、歴史的価値やシンボル性の観点から残してほしいとの意見があるが、耐震性能やバリアフリー化などへの対応が改修でどの程度可能か検討したい。

市庁舎全体の整備基本方針を検討する中で、本館の取り扱いも検討していく。

再発言 本館の保存を大前提に、基本的には壊さず残していく方向性を大きな基本方針としてはどうか。

十分な議論を尽くし多様な

市民意見を集約して、住民合意のもとに計画を進めてもらいたい。

絵本
ギャラリー

問 公共施設の設置には明確な目的が必要であり、設置目的を聞きたい。

答 絵本を通じたまちづくりに寄与し、絵本や原画に親しむことで、人々の豊かな感情や情緒を育むことを大きな目的としている。

問 建設に当たって、動物園の入園料の引き上げが検討されているが。

答 駐車場の整備など整備費や維持管理費が発生するため、改定を検討したい。

再発言 絵本ギャラリーの設置に反対ではないが、結果的に入園料の引き上げ、駐車場の有料化となり、市民・利用者の理解を得られるか疑問。

設置場所についても、公共施設への併設など再検討し、一旦計画を白紙に戻して、市民・議会の理解を得た計画として進めてほしい。

新栄町駅前市街地再開発事業

問 計画が大幅に遅れると報告された。同再開発事業の現状と課題、原因を聞きたい。

答 建設業務代行者から同意書が提出されず遅れている。同準備組合では、事業継続に

向け、協議されている。

問 今後の事業の見通しは。

答 同準備組合で協議が継続中であり、その状況を今後も踏まえていく必要がある。

再発言 総事業費118億8,000万円、市の負担額16億8,000万円という再開発事業が、全市民的な利益になるのか、市民合意が得られるのか、税投入における費用対効果があるのか、公益性の検証が明らかではないと指摘してきた。

現状を正しく分析し、事業を再検討してほしい。

水道事業の民営化

問 水道法の改正で水道施設の運営に民間事業者が参入できるようになった。今回の法改正をどう見ているか。

答 これまでどおり市町村経営の原則は変わらないと思うが、経営基盤の強化を図るため、自治体の状況に応じた官民連携や広域連携のあり方を検討していくべきと考える。

問 水道事業に民間企業が参入するメリットよりもさまざまなデメリットのほうが心配されているのが現状。法改正後の考えを再度聞きたい。

答 自治体による運営、公営が基本と考える。



人口減少対策として「若者の地元企業(産業)への就職」の推進を



自由民主党議員団
徳永 春男 議員

人口減少対策は若者の 地元企業への就職

問 一番の人口減少対策は、若者の地元就職ではないか。

答 1社でも多くの企業誘致と地場企業に発展していただくためにも、雇用の場の創出に全力で取り組みたい。

問 就職担当の先生や保護者、企業との密接な情報交換が最も重要だが取り組み状況は。

答 市内の高校等で構成する実行委員会で、企業の紹介、先生方との意見交換会や企業見学会、企業PR動画に加え、本年度から合同会社説明会への家族参加、さらに高校1年生からの就職ガイダンスなども行っていく。



新栄町駅前地区 市街地再開発事業

問 建設業務代行者の芝浦グループと準備組合との協定に

ついて聞きたい。

答 芝浦グループと準備組合の間で基本協定書が29年2月に結ばれた。

この協定を結ぶ際は、準備組合の方で、日本でも屈指のコンサルタントにコーディネーター役としての委託契約を締結し、リーガルチェック*等を含め、指導・助言を受けながら協定書も締結をされており、市もチェックをした上で助言等も行っている。

問 第一種市街地再開発事業は、準備組合が主体であるが、今後の市の取り組みは。

答 再開発事業は、都市機能を中心拠点に誘導・集約し、街なか居住の推進や中心市街地のにぎわい創出として、本市が目指すまちづくりに寄与することから、引き続き準備組合に対して指導・助言等の支援を最大限努力したい。

本庁舎整備

問 本庁舎整備については、基本構想などの期間で十分に練ることも必要では。

答 基本構想や基本計画というものは、1年や1年以上という期間を想定している。

基本構想や基本計画の段階で様々な知見を集めて、よりよいものにする作業は不可欠であり、そうした時間は十分

とる必要があると考えている。

大牟田市財政構造強化 指針での具体的な取り組み

問 財政構造強化指針に掲げる4項目の財源確保の取り組みの具体策は。

答 1点目の地域活性化及び地域資源の活用では、地域産業の振興策と企業誘致を展開。

2点目の市税等の収納率の維持向上については継続。

3点目の受益者負担の適正化では、使用料・手数料を3年に1度検証し、適正改定。

4点目のその他の歳入確保策では、各種団体の助成金獲得、ガバメント・クラウドファンディングの活用、ふるさと納税の収入増、資産の売却などを行いたい。

問 歳出削減の具体策は。

答 事業の必要性や優先順位を見極め、31年度は一般財源額を圧縮し、経常経費では32年度に枠配分額の3%カットなどを行っていく予定。

地区公民館と校区まちづくり 協議会の運営見直し

問 新たな運営方針による地区公民館と校区まちづくり協議会の運営が実施されるのか。

答 2020年度から始まる次期総合計画で、社会教育・生涯学習基礎調査研究の結果や地区公民館のあり方の検討などを踏まえ、方向性を示したい。

また、校区まちづくり協議会の支援については、設立期から自立期への移行も踏まえた見直しを行う必要がある。

*リーガルチェックとは、法的に妥当か(違法でないか)などチェックすること。

代表質問

住みたい、住み続けたい安心のまちづくり



公明党議員団
平山 伸二 議員

られない等の問題があるようだが、市も準備組合とともに建設業務代行者とお互い胸襟を開いて話し合いをしてもらいたいと思うが。

子ども・子育て支援

問 31年10月実施予定の幼児教育・保育の無償化の状況と課題を聞きたい。

答 幼稚園・保育園・認定こども園を利用する3歳から5歳の全ての子どもとゼロ歳から2歳の市民税非課税世帯の子供の保育料、認可外保育施設等を利用する3歳から5歳の子ども利用料等が対象とされている。現在、全国市長会を通じて要望を行うとともに、子ども・子育て検討会議に参画し、詳細な情報収集に努めている。全国市長会では、無償化における財政負担、対象となる認可外保育施設等の質の確保、保育需要拡大への対応や実施時期の見直しを含む事務負担の軽減等について要望等を行ったが、これらの項目は多くの自治体の共通課題となっている。

新栄町駅前地区再開発事業

問 新栄町駅前地区再開発事業について事業全体の遅れ、建設業務代行者の同意書が得

答 中心市街地の活性化は非常に重要な課題と認識している。そのために必要な核的事業をどう成立させるかに対して、引き続き努力したい。

市庁舎整備

問 市庁舎については、28年4月の熊本地震を受け、庁舎整備の必要性が改めて生じた。

大牟田市庁舎整備検討委員会の答申を受けての市長の見解を聞きたい。

答 同検討委員会からいただいた答申をもとに、市民の御意見を踏まえ、基本方針案を31年2月の市議会全員協議会で示し、内容を説明したい。



大牟田市庁舎

高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種

問 肺炎は、日本人の死因の第3位を占める重大な疾患で、ワクチンによる重症化予防が重要視されている。経過措置

期間が31年3月31日だが、それまでの取り組みは。

答 3月末までの取り組みとしては、広報紙、ホームページの記事掲載により、さらなる接種勧奨を図りたい。

防犯灯のLED化

問 防犯灯のさらなるLED化に関し、今後の推進についての見解を聞きたい。

答 地域が設置する全ての防犯灯について、早期にLED化できるよう、明るい町づくり推進協議会との緊密な連携をとり、防犯灯のLED化の推進を図っていく。

歩道の街路樹の管理

問 街路樹の根の成長で歩道が盛り上がり、市民がつまづく事態があるため、対策が必要である。見解を聞きたい。

答 危険性の高いものはすぐに改善し、優先度の高い箇所から計画的に段差解消を行い、道路利用者が安全に通行できるよう対応していきたい。

通学路における危険ブロック塀等の安全確保

問 危険と判断された民間所有のブロック塀等で、資金的に対応できない箇所への今後の市の対策を聞きたい。

答 通学路の安全性確保の観点から、国の補助金及び県の助成金を活用した、ブロック塀などの撤去に関する補助制度を前向きに検討している。

一般質問



社民・国民民主・護憲クラブ
古庄 和秀 議員

障害者が長く働き続けられる市役所になるように

問 中央省庁の障害者雇用水増し問題は、障害者雇用を着実に進めてきた本市をはじめ地方自治体、民間企業、障害

当事者、家族、就労支援機関の方々への裏切り行為である。市長の考えを聞きたい。

答 指導的立場にある中央省庁において、このような事態になったことは非常に遺憾。本市では対象となる職員の障害者手帳を確認しており、障害者の範囲に誤りはない。

医療的ケア児*への支援の充実

問 全国的に増加傾向にあり、福岡県、久留米市も実態調査をした。本市の現状認識は。

*医療的ケア児とは、日常生活を送るために、痰(たん)の吸引や経管栄養などの医療的ケアを必要とする子供。全国で推計1.8万人。

答 県の調査では、本市の医療的ケアが必要な9名のうち医療的ケア児が4名。その地域生活を支援するために、障害、医療、保育、教育などの関係機関と連携し、適切に対応していく必要がある。

問 医療的ケア児の学校生活における現状と課題は。

答 看護師2名で4名の児童生徒を支援する。看護師が不在となる場合の対応が課題。

問 遠足等校外学習の現状は。

答 家族等の付き添いがあれば参加でき、なければ不参加。



自由民主党議員団
山口 雅夫 議員

財政運営の現状及び諸課題への対応

問 経常収支比率が改善しない要因と改善のための方針は。

答 人件費や公債費の割合は減少している一方で扶助費や

物件費、繰出金が増加している。改善には、市税等の経常一般財源の確保と経常経費の全般的な抑制が必要と考える。

高速船三池島原ラインの利用状況

問 高速船利用者が減少する中、平成26年に高速船の利用拡大に向け島原市等と観光協定を締結し、現在の運行事業者は相当額の費用を投じ、三池港の船着き場の改修を行い減便せずに運行継続している。本市は航路の位置付けをど

のように捉えているのか。

答 帰省、仕事、観光、買い物などの交通手段に利用されており、本市と島原市を結ぶ唯一の旅客航路として、なくてはならない重要な航路であると考えている。

再発言 再び航路廃止の話が浮上しないよう、予防策として、改めて両市を挙げて観光と公共交通機関の利用促進の両面からの取り組みを行うために、まずは関係者が直接膝を交え、活発な議論ができる場をつくるよう求めたい。



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

「100万人訪問・調査」から見える生活不安や多様なニーズに応える共生社会の構築

問 31年10月からの幼児教育・保育の無償化への考えは。

答 国で開催される協議会等の情報収集に努め、利用者等

の負担に影響が出ないよう取り組みたい。

再発言 事業者・利用者に支障がないよう取り組まれない。

問 介護支援等の相談先は。

答 市内6カ所に地域包括支援センターを設置し、専門知識を持った職員が介護サービスなどの相談に応じている。

再発言 いざというときの相談先としての周知徹底を。

新栄町駅前地区市街地再開発事業

問 同事業はどのくらい遅れ

るのか。

答 同準備組合で現在、協定に基づき、事業継続に向け協議・検討が行われており、その状況を踏まえる必要がある。

交通弱者や高齢者等の新たな今後の移動手段

問 上記に係る取り組みは。

答 鉄道やバスの既存の公共交通で、約8割が徒歩圏域のため、この公共交通環境の維持確保を基本としていきたい。

再発言 市民ニーズに合った新たな移動手段の検討を。

一般質問



自由民主党議員団
田中 正繁 議員

平成31年度の
予算編成の考え方

問 各種事業のスクラップ・アンド・ビルドの推進とアクションプログラムのローリングで見直す事業の考え方は。

答 アクションプログラムは、本市を取り巻く状況の変化に対応して毎年見直しを行い、効果的に施策を推進するために必要となる新たな事業の追加や既存事業の拡充・縮小等について協議を進めている。

市庁舎整備の考え方

問 耐震性の低い新館等は早急に建て替えを進め、本館は利活用の議論を深めた後に着手し、工期を2期に分けては。

答 庁舎全体の整備として検

討し、一つの建物としてどういう機能とスペースが必要か一体的に検討する必要がある。

動物園の駐車場
整備の考え方

問 駐車場予定地にタクシーや利用者の送迎のための乗降車を整備してはどうか。

答 周辺の道路状況や利用状況、駐車場のレイアウトや来園者の安全確保等を踏まえる必要があり、警察や道路管理者、そして指定管理者等と協議を十分にに行い検討したい。



公明党議員団
三宅 智加子 議員

絵本ギャラリーの整備

問 絵本ギャラリーの整備は大牟田のまちづくりに資する取り組みだと考える。市長の取り組む姿勢を聞きたい。

答 絵本を通じたまちづくりに寄与するとともに、絵本や原画に親しむことにより、人々の豊かな感情や情緒を育むことを目的としている。

皆様方の賛同を得て積極的に事業を進めたい。

問 動物園の機能強化事業に対して過疎債が使える意義について確認したい。

答 新たに動物園を敷地拡張し絵本ギャラリーを整備することで、駐車場の旧延命中校舎解体費と整備費、旧老人福祉センターの解体費が一般の

起債ではなく、70%交付税措置の過疎債の対象になった。

動物園の整備

問 平成4年にリニューアルオープンした動物園自体の整備にも目を向けるべきである。

全体観に立った見直しの検討について見解を聞きたい。

答 まずは、長年の課題であった駐車場をはじめ、トイレや獣舎の整備を行うとともに、絵本ギャラリーを整備し、休憩室を設置する予定。



無所属
森 遵 議員

絵本ギャラリー

問 厳しい財政状況で、動物園から求められているわけでもない絵本ギャラリーを、入園料の値上げまで見込んで整

備する目的は何か。

答 動物園を見学される多くの方に動物をテーマとした本物の原画に触れていただくことで、興味や感動を与え、飼育動物数や種類が減少していく動物園の将来的な魅力向上を図る。

問 整備により、来場者増など期待している成果は何か。

答 来場者の増加については、現時点では、具体的な数値は持ち合わせていない。

問 えるるやカルタ館など、手軽に原画を見れるような環

境を整えることもできるのではないかな。

答 いろいろな関係者と協議した結果、適切な原画の管理や展示ができる常設の施設として、動物園の敷地を拡張して整備したいと考えている。

問 入場料の値上げについての考え方は。

答 近隣の類似施設を参考に今後検討したい。

再発言 絵本ギャラリーの目的と効果、動物園の将来、ほかの事業とのバランスなど、総合的に再度検討されたい。



無所属
塚本 二作 議員

西鉄バス上官線 (庄山系統)の維持存続

問 31年10月以降の交通手段の確保についての考え方は。

答 現状の路線バス運行を基本としつつ、地域住民のニ-

ズや利用実態を確認し、他の交通手段による対応も含め、当該地域にとって安価かつ最適な交通手段に関する検討・調査を行う。

自動車運転免許証更新手続の 大牟田警察署での実施実現

問 八女警察署黒木交番は遠隔地警察署に指定され更新手続が出来るのに、大牟田署が同指定とされない理由は。

答 福岡県警に確認したところ、運転免許試験場まで一定の距離があり、公共交通機関

一般質問・トピックス

等の利便性が比較的悪い地域に居住されている方々への利便性を図るために遠隔地警察署を指定としており、大牟田署は該当しないとのこと。

問 多くの市民からの要望がある大牟田署での免許証更新手続の実施実現に向けて、の当局の決意は。

答 現在本市では、市民から直接このような要望は受けていないが、要望があった場合については、権限を持つ福岡県警察にお伝えしたい。



無所属
島野 知洋 議員

企業誘致に本市の自然災害 の少なさをもっと生かして

問 自然災害の発生状況などにおける客観的データを提示できれば、企業誘致のアピール効果が増すと考えるが、本

市の取り組みを聞きたい。

答 地震の発生状況や活断層の分布図などの情報を提供し、自然災害が少ない地域であることを積極的にPRしている。

再発言 大学等に調査研究を委託するなどして、この自然災害の少なさを現在と過去、未来にわたり加味したもののデータ集約等を図り、企業誘致への有力なツールとして生かしてほしい。

安全で快適な教育環境の整備

問 大阪地震後に実施された通学路に面するブロック塀の緊急点検後の改修状況は。

答 改善を要するブロック塀333件の位置を地図に書き込み、今後年2回のフォローアップ調査を実施することになっている。30年10月に行った第1回目の145件の調査で、8件の改善が確認できた。

問 危険なブロック塀の改修に対する補助制度について、本市の考え方は。

答 国や県の助成金等を活用した補助制度を検討している。

見事、完走しました！リレーマラソン



「走って、つないで、めざせ完走！」

第2回FMたんと42.195kmリレーマラソンが、昨年11月に諏訪公園で開催され、大会には大牟田市内のほか福岡、熊本、佐賀などから143チーム、約1,260人が出場。諏訪公園周回コースをタスキでつなぎ、30周しました。

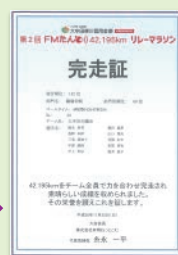
大牟田市議会も事務局との合同チームを編成し、30歳代から60歳代までの10名で出場。1カ月前から練習を始め大会に臨んだ議員もいましたが、「参加することに意義がある。制限時間内ゴールは難しいだろうね」と和やか。

議長をはじめ議員も多数応援に駆けつけ、和気あいあいとした雰囲気ですスタート。

しかし、いざ走り出すと本気モード全開で順調にタスキをリレーし、いつの間にか制限時間4時間以内クリアを目標に、チーム一丸となって激走。完走することができました。

出場の議員からは「完走できたことは素晴らしい結果。団結も深まったのでは」と笑顔。後日、筋肉痛に悩まされた議員もいましたが、市民の皆さんと一緒に楽しい貴重な1日が過ごせました。

皆さんも出場されてみてはいかがでしょうか。



おおむた自慢



大牟田駅はＪＲと西鉄を含め、１日平均14,000人以上が乗降する本市の玄関口となっています。

しかしながら、大牟田駅西口については、帝京大学や大型商業施設行きのバスの乗り入れはありますが、観光案内の機能がなく、トイレも老朽化していますので、利便性向上の観点からも速やかな対策が必要でした。

このたび、大牟田駅西口のベンチやトイレ、花壇等を整備・改善し、機能充実に向けた取り組みが行われます。

◎西口広場に、かつて市内を走っていた路面電車が常設展示されます。

この路面電車を所有し、保存・管理されている市民団体「２０４号の会」から、大牟田駅で展示・活用してほしいと、市へ寄贈の申し出がありましたので、大牟田駅西口の魅力化に向け、積極的に活用を図っていくこととされました。

西鉄や「２０４号の会」関係者からご協力いただき、改修と同広場への移設が行われます。

【路面電車の概要】

路面電車２０４号は、昭和18年に製造され、27年まで大牟田市内線として運行した後、福岡市内線等を走り、昭和50年に廃車。

その後は、山口県光市の市立図書館で活用され、平成23年４月に「２０４号の会」により大牟田市内へ移設されていました。

西鉄の２００型電車としては、現存する最後の１両です。



(駅西口外観・配置イメージ図)
※走っていた当時の色に塗り替えられます。

◎平成31年3月から、西鉄の観光列車が運行開始されます。

この観光列車運行により、沿線各地の魅力や地域資源を発掘・活用し情報発信することで、地域の活性化にもつながるものと期待されています。また、観光列車に対応した観光タクシーの運行も始まります。

これにあわせて、列車到着時のおもてなしや、今回整備される路面電車の展示場周辺においてマルシェ等のイベントも開催される予定です。

連絡橋 の改修



(イメージ図)

◎大牟田駅連絡橋が改修されます。

東口と西口をつなぐ大牟田駅連絡橋は、平成２年に開通してから28年以上が経過し、多数のさび、雨漏り、通路や階段のタイル破損などが発生しています。また、雨漏りなどで通路が滑りやすくなり通行しづらい状況もあります。

そこで、建屋や通路など、全面的な改修が行われます。夏場の暑さ対策として開口部を広めにとるなど、風が通り抜けるように改良される予定です。工事期間は平成32年３月までの予定です。

編集後記 大牟田市のまちづくりは、市民の皆さんの力や知恵をお借りした協働によるまちづくりが重要と考えます。協働のまちづくり推進条例にも示されているように、市民の皆さんとの協働によるまちづくりが、あらゆる機会に生かされていることに深く感謝しています。市議会としましても、我がまちの活性化に向け、これからも努力を続けていきます。(1)

■編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】橋積和雄 【副委員長】古庄和秀

【委員】光田茂 森竜子 今村智津子 大野哲也 塚本二作

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail : e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

■印刷 株式会社野口印刷所